

Contents

巻頭言	・自ら追究する 楽しい理科教育を目指して 福井県教育庁嶺南教育事務所長 江戸 義直	受講者 だより	・「学校インターンシップ」 ・「博物館インターンシップ」 ・先端科学技術セミナー 「福井県における災害リスクから ～自然災害に備えるために～」
TOPIC	・第14回福井 CST 認定証書授与式を挙りました		
Pick up!	・第38回福井 CST 合同研修会を開催しました (第36回 福井 CST 公開セミナー) ・第5期 福井 CST 地域支援拠点(小学校)4校が決定しました	お知らせ	・「第39回福井 CST 合同研修会」のご案内 (第37回 福井 CST 公開セミナー)

巻頭言 自ら追究する 楽しい理科教育を目指して

福井県教育庁嶺南教育事務所長 江戸 義直

私が教員として理科教育と向き合ってきた時期は、初任から11年間の小学校勤務時でした。社会科教員の私が小規模校ということもあってか理科主任となったこと、理科教育の豊富な教育実践と高い専門性・指導力を持たれた教頭先生と出会ったことが重なり、その後の教員人生を大きく変えるほど理科教育に熱中することとなりました。

まず、教頭先生とともに取り掛かったのは、子どもが自分で考え実験・観察用具を準備できる「理科室備品棚の大改造」。実験器具をイラスト表示のケースに入れるなど可視化。リニューアルオープン時の子どもの笑顔とやる気に満ちた表情は今でも鮮明に覚えています。

次に取り組んだのは授業づくり。3年生「昆虫の成長と体のつくり」では、「江戸モンシロチョウをつくらう！」の学習課題で、人のからだをチョウの成虫のからだに当てはめていく学習活動を展開。当時視聴覚機器であった OHP と透明シートで、子どもが楽しく「ヒトのチョウ大変身」を解説しました。4年「水の三態変化」では、湯気とあわの正体を明らかにする実験を子どもに委ねる学習展開に挑戦しました。

なかでも熱中したのは「私たちの理科研究」。研究

テーマや方法、結果・考察、まとめに至るまで、現在の「探究学習」のように学習者一人一人と向き合い、ともに悩み・楽しみました。天気の変化や川にすむプランクトン調査など、継続観察を楽しむ姿。風呂の中に入れたペットボトルの沈める深さで飛ぶ高さが変わることに着目した研究や、公園でトビに弁当やお菓子を取られた経験から生まれたトビの弁当の取り方の研究など、日常生活から問いを生み研究する姿。その1つ1つに「なぜだろう」「どうしてだろう」と、ともに観て・考えることで、私の理科教育における見方・考え方が育ったと確信しています。

今、生成AIの急速な発達により社会が大きく変化しています。自分に必要な情報が容易にハイスピードで入る時代。だからこそ、理科という目の前で起こるリアルな自然事象を追究する楽しみは、子どもたちの今、そして将来にとって大切な学びであると考えます。CSTのみなさんが個々にそして相互に専門性や得意を見つけ・伸ばし、各校や地域のリーダーとして「自ら追究する」「楽しい」理科教育を推進していただけることに、心から感謝するとともに全力で応援しております。

Topic 第14回福井 CST 認定証書授与式を挙りました

令和7年3月24日(月)、福井大学文京キャンパスにて、第14回福井 CST 認定証書授与式を挙りました。認定を受けたのは、CST 養成プログラムを修了した、上級 CST 受講者(現職教員)2名、中級 CST 受講者(院生)1名、初級 CST 受講者(学部生)5名の計8名です。

今後、県内各地域の CST や CST 養成・支援機関・地域支援拠点(小学校)等と連携を取り、また、新しい連携先を開拓し、それぞれの所属校や地域の理科教育支援のため、様々な場面での活躍が期待されます。

令和6年度認定 福井 CST

上級 CST(福井)

敦賀市立中央小学校 川北 あゆみ
坂井市立雄島小学校 ハウカ 佐由里

初級 CST(福井)

養成プログラム修了 水島 慧子
養成プログラム修了 三屋 力規
養成プログラム修了 柿本 英里奈
養成プログラム修了 西畑 和真
養成プログラム修了 五十嵐 一梅

中級 CST(福井)

養成プログラム修了 黒瀬 玲凱

所属は令和7年3月24日現在 (敬称略)



第38回福井 CST 合同研修会(第36回福井 CST 公開セミナー)を開催しました

令和7年6月20日(金)に開催し、31名の参加がありました。(Web会議システムZoomでの参加含む)

- ◆「花の戦略を調べる・伝える」
福井市自然史博物館 柴田 あかり 学芸員
- ◆「理数グランプリ・理数ゼミ(理科分野)について」
上級 CST 宮本 貴夫(県教育庁義務教育課)
- ◆「小学校理科ワークからタブレットへ～移行への取組～」
上級 CST 大野 豊(美浜町立美浜西小学校)
- ◆卒業論文の紹介
「発光バクテリアを活用した生物教材の開発
—土壌から採取した微生物のはたらきを視覚的に捉える—」
中級 CST 受講者 水島 慧子 (教職大学院)
- ◆新メンバー紹介と諸連絡



◆「花の戦略を調べる・伝える」

福井市自然史博物館 柴田 あかり 学芸員

植物が天候の変化を感知して花の向きを変える仕組みと意義に関する研究をご紹介します。専門分野が異なる皆さんにも興味深く聞いていただき、こちらも刺激を受けました。身近な植物、タンポポやチューリップも光や温度の変化に応じて花を開閉させることが知られています。小中学校でも花が動く様子を観察してみたいはいかがでしょうか。



第5期 福井 CST 地域支援拠点(小学校)4校が決定しました

令和7年度～令和9年度 地域支援拠点(小学校)

福井大学担当教員

嶺北	坂井市立春江小学校	西沢 徹 / 三浦 麻
	福井市明新小学校	山田 吉英 / 野口 正人
	勝山市立荒土小学校	浅原 雅浩 / 栗原 一嘉
嶺南	敦賀市立中央小学校	小林 和雄 / 保科 英人

受講者だより

「学校インターンシップ」

福井市足羽第一中学校 初級 CST 受講者

10回のインターンを終えて、振り返るととても多くの学びがあったと思う。特に、生徒たちに実際に目で見てもらったり、体験させたりすることの重要性を知れたインターンだった。教科書に載っている事だけを学ぶだけでは理科の面白さを生徒に伝えることは出来ないし、生徒たちも理科に興味関心を持ってない。理科には観察や実験があるので実験を通して学んでいける授業が大事だと思った。

「博物館インターンシップ」

福井県立恐竜博物館 初級 CST 受講者

シロイルカの徐肉を行い、肉や骨の付き方を学んだ。私たちは、解剖台で肋骨やしっぽの骨、背骨を分担して徐肉をした。特に私は背骨を担当した。

また、お話を伺い、骨について学んだ。2万年前のハクジラと、現在のハクジラを比べて進化について考えていくと、脳は大きくなっており、頭の骨がなくなっており、鼻が目より後ろ気味でついているように進化していることを学んだ。同じハクジラでも、構造が大分違うことが印象に残った。

「福井県における災害リスクから ～自然災害に備えるために～」

先端科学技術セミナー 2025年7月27日 上級 CST

気象に関しては中学2年生で学習する。波と津波の違いや水が減少することが地球温暖化に寄与していること、能登半島地震の福井に対する今後の影響やリスク等の話は子どもたちの生活に関連するので、授業で説明する機会があってもよいと思う。授業だけでなく、避難訓練をはじめとする防災教育の際にも、地震や大雨に関する知識や影響、それに伴うリスクや日ごろからの備えに関する学習を取り入れて、子どもたちの防災に関する意識の向上にも活用できるだろう。

◇講座情報◇

10/13(月)	「魚介のタウリン」老化予防効果を徹底解説 (福井県立大学)
10/31(金)	月の写真を撮ろう (福井県自然保護センター)
11/20(木)	令和7年度第22回 福井県中学校理科教育研究大会 福井大会 (福井市光陽中学校)

お知らせ

第39回福井 CST 合同研修会 (第37回福井 CST 公開セミナー)

参加費無料
要事前登録

- 日時会場** 令和7年10月25日(土) 15:15~17:30
福井大学 文京キャンパス 総合研究棟 I
13階 大会議室(内容1,2) および 12階 化学大実験室(内容3,4)
- 内容**
- 高志高等学校 SSHの挑戦(仮題)
福井県立勝山高等学校 教頭 橋本 将宏
 - 身近な物理実験の紹介(仮題)
福井大学教育学部 教授 栗原 一嘉
 - CST 拠点校理科公開授業
上級 CST 受講者 勝山市立荒土小学校 平林 茂将
 - 理科教育学会発表報告
中級 CST 受講者 春田 真椰
(福井大学大学院連合教職開発研究科)

参加申込 以下フォームまたはQRコードよりお申し込みください

<https://forms.gle/nWt9MW8ACUN836l>

申込期限 令和7年10月15日(水)



CST News Report No.34 2025.9.30 発行

編集・発行・印刷 福井大学 CST 企画運営事務局
〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号 ☎0776-27-9928
E-mail cstfukui@f-edu.u-fukui.ac.jp
HP <https://www.cst-fukui.net/>

◆今回は、一部「第33回物理教育に関するシンポジウム」と同時開催になります。